

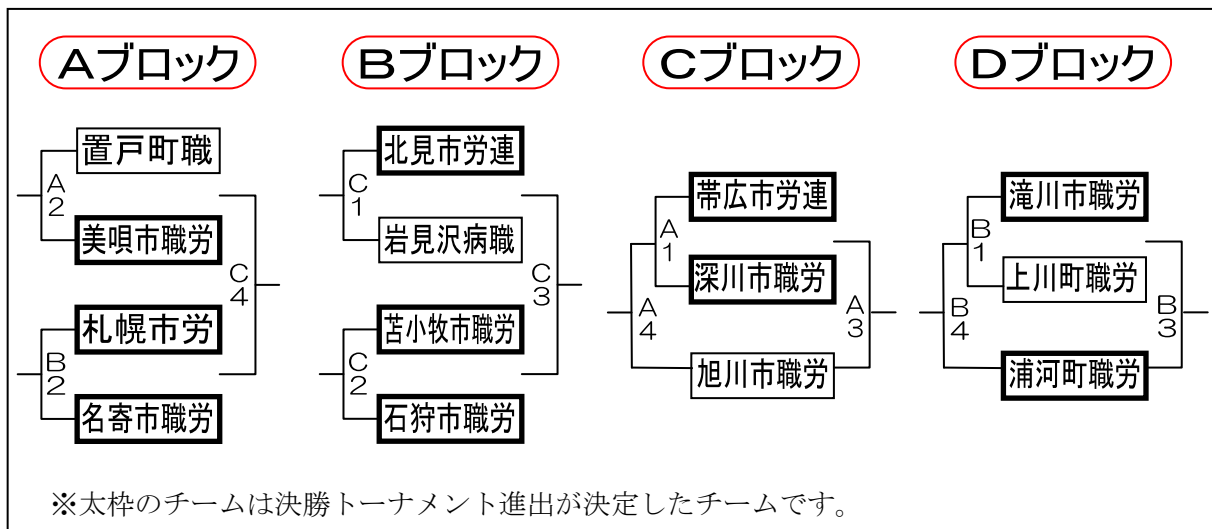
決勝トーナメント進出チーム決定！

旭川市職労、置戸町職、上川町職労、岩見沢病職は善戦及ばず涙…

大会は予選の11試合が終わり、決勝トーナメント進出チームが決定しました。

残念ながら、旭川市職労、置戸町職、上川町職労、岩見沢病職は善戦及ばず決勝に進むことが出来ませんでした、どのチームもはつらつプレーで大会を盛り上げてくれました！

この悔しさは、今晚のレセプションと来年の大会にぶつけてください（笑）！



初戦を落として後の無いチーム同士の対戦。第1セットから一進一退の攻防が続く大接戦となったが、若干疲れの見え始めた岩見沢病職に対し、石狩市職労の2番・黒田のスパイクが要所で決まるなど、石狩市職労がフルセットの末、勝利した。

予選 C-3

岩見沢病職	1	$\begin{pmatrix} 23-21 \\ 9-21 \\ 22-24 \end{pmatrix}$	2	石狩市職労
-------	---	--	---	-------



この日2試合目の深川市職労とこの大会初陣の旭川市職労の対戦。第1セット、深川市職労は、両サイドからの攻撃がさえ、連続12得点を挙げ試合を圧倒。第2セットも深川市職労は、安定したレシーブから攻撃につなげ着実に点数を重ねる。旭川市職労も中盤以降ミスが続く、攻守共に安定した試合をした深川市職が一方的な試合でゲームセット！

予選 A-3

深川市職労	2	$\begin{pmatrix} 21-12 \\ 21-7 \end{pmatrix}$	0	旭川市職労
-------	---	---	---	-------



一番の敵は『ケガ』だ！

序盤は上川町職労築取選手の3連続サーブポイントでリードするが、中盤から浦河町職労日田選手のスパイクなどで得点を積み重ね21-15で浦河町職労が1セット先取。2セット目は上川町職労三瀬選手と浦河町職労宇田選手のエースの打ち合いとなり、僅差で浦河町職労が21-18で決勝トーナメント進出を決めた。

予選 B-3

上川町職労 〇 $\begin{pmatrix} 15-21 \\ 18-21 \end{pmatrix}$ 2 浦河町職労



序盤は7点まで競っていたが、7番レフト角田のサーブで5点連続得点し、レフト角田の高いスパイクが決まりだした。置戸町職のミスも多くなり、名寄市職労が1セット目は取った。2セット目は序盤から置戸町職のミスが続き、名寄に点差をつけられるが、中盤10番レフト道原、8番ライト早坂のスパイクが決まりだし、逆に名寄のミスが目立つようになり置戸町職が追い上げるが、終盤ライト8番田中のスパイク、7番角田のサーブで勢いづき、そのまま勝利した。

予選 C-4

名寄市職労 2 $\begin{pmatrix} 21-12 \\ 21-14 \end{pmatrix}$ 〇 置戸町職



ともに2試合目となる帯広市労連と旭川市職労の対戦は決勝リーグをかけ対戦。多彩な攻撃パターンを持つ帯広市労連は、クイック攻撃を交えて着実に点数を重ね優位に試合を進める。一方、旭川市職労は、球が繋がらず1セット目を落とす。帯広市労連の勢いは止まらず、流れが変わることなく2セット目の試合も優位に進め旭川市職を下した。

予選 A-4

帯広市労連 2 $\begin{pmatrix} 21-10 \\ 21-6 \end{pmatrix}$ 〇 旭川市職労

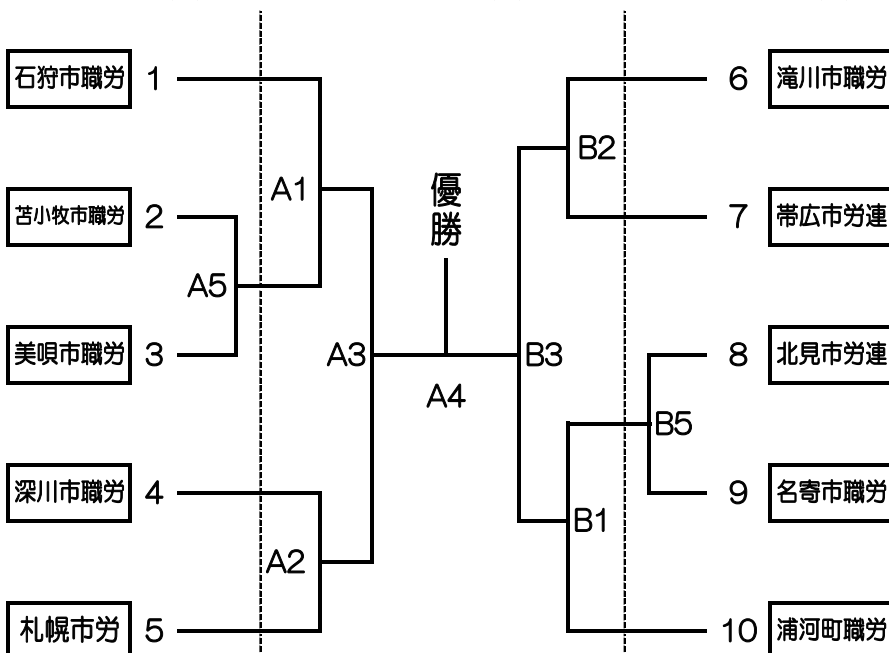


決勝トーナメント組み合わせ表

1日目 7/23 (土)

2日目 7/24 (日)

1日目 7/23 (土)



さあ、決勝トーナメントが始まりました！
やはり予選とは違う緊張感が漂っています。
全国大会はすぐそこです。
選手の皆さん、怪我をせずに最後まで頑張ってください！